

五峡の子

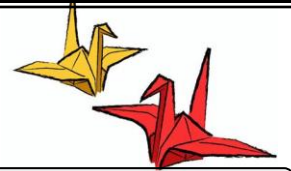
学校だより 12月号
荒川区立第五峡田小学校
校長 出井 玲子
令和3年12月1日(水)
TEL 3892-9515
五峡小ホームページ

<http://www.aen.arakawa.tokyo.jp/DAI5HAKETA-E/>

【学校教育目標】 「かしこい子」 「やさしい子」 「たくましい子」

一步一步が 歴史を作り 未来を創る

校長 出井 玲子



千羽鶴に込めた思い

11月20日(土)に、創立90周年記念式典を開催することができました。ご来賓の皆様にお越しいただくことはできませんでしたが、子供たちとともに90年の歴史と伝統を振り返る機会ができました。様々な制限がある中で高学年の児童が「喜びの言葉」や「楽器演奏」などの発表も一杯行いました。これもひとえに五峡小の関わる全ての皆様のお陰様であり、改めてお礼申し上げます。保護者の皆様のご協力にも感謝申し上げます。

式典に至るまでに行った多くの行事の一つに「90秒チャレンジ」がありました。子供たちが90秒の間に様々な挑戦をし、全校に映像で披露するものです。剣玉、腕立て伏せ、クラス全員での長縄跳びなど、努力と完成度、子供たちのアイデアにただただ驚きました。その中で「五峡小の良い所を90秒言います!」というものがありませんでした。「元気なところ、みんなの仲が良いところ、団結して取り組むところ、学校がきれいなところ…」まだまだありました。とてもうれしい気持ちになりました。この先、創立100周年に向けて五峡小の良いところをますます増やしていきたいと思えます。

～以下校長式辞より抜粋～

これまで五峡小がお世話になってきた地域の方や先輩からのメッセージを少し話しましょう。

児童の皆さんは、校庭のプール横の緑の小道に建っている「二宮尊徳さん」の像を知っていますね。「二宮金次郎」と言った方が分かるかもしれません。あの像は、実は本校の卒業生の「高梨 登さん」という方が建ててくださったものです。高梨さんは、「母校の子供達のために何か残したい」と贈ってくださったそうです。

もう一つのメッセージです。校長室に千羽鶴が飾ってあります。これは今年の三月、卒業を直前に控えた当時の6年生、つまり、今中学1年生になっている卒業生が校長室に持ってきてくれたものなのです。「創立90周年のお祝いに私たちはいませんが、お祝いと五峡小への思いを込めて、校長先生に渡します」と言って…。このことをいつか皆さんに伝えようと思っていました。

私はこの間、周年行事とは五峡小に関わった方々との、時を超えたつながりをもつためにあるのだと思うようになりました。この創立90周年の大切な節目に、多くの方からのメッセージを受け取った皆さんは、五峡小を次に引き継ぐという思いをこれまで以上に深めて欲しいと思えます。「一步一步が歴史を創り、未来を創る」

そのために、これからも皆さんで力を合わせていきましょう。

人権週間について

12月4日(土)～10日(金)は人権週間です。テーマは～「誰か」のことじゃない～です。

人権権標語づくりには保護者の皆様のご協力ありがとうございます。自分ごととして一人一人を大切にすること、人権のことを考えるきっかけの期間としたいと思います。

「カラコエの花」という映画は、高校生の日常を舞台にした、人権を考える心揺さぶられる話です。児童が視るには難しい内容ですが、まず大人が考えることから人権問題は始まるのではないかと思います。